

木造住宅の耐震化

あなたのすまいは地震に自信がありますか？

耐震について考えてみましょう。京都市がサポートします！

京都市では、昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の耐震化を進めるため、耐震化に関する支援制度を設けています。

※各制度は、予算の範囲内で行います。予算額に達した場合、受付を終了しますのであらかじめ御了承ください。
また制度の利用に当たっては要件や審査があります。詳しくは各リーフレット又は京安心すまいセンターで御確認ください。

すまいの耐震化に向けて

ステップ 1 まずは調べる。 ◎耐震診断◎

耐震診断ですまいの安全性を確認し、改修の必要性を判断しましょう。

大地震が起こったときに、倒壊するおそれがあるかどうかを専門家が総合的に判断し、耐震改修の必要性を判定します。

建物の大地震に対する強さを構造評点という数値によって診断します。





～支援制度～

耐震診断士派遣制度

耐震診断の専門家を派遣します。

自己負担金 ○木造住宅 2,000円
○京町家 5,000円



1. 5以上	1.0以上1.5未満	0.7以上1.0未満	0.7未満
 倒壊しない	 一応倒壊しない	 倒壊する可能性がある	 倒壊する可能性が高い

ステップ 2 次に計画を立てる。 ◎耐震改修設計◎

専門家と相談しながら、耐震改修の計画を立てましょう。

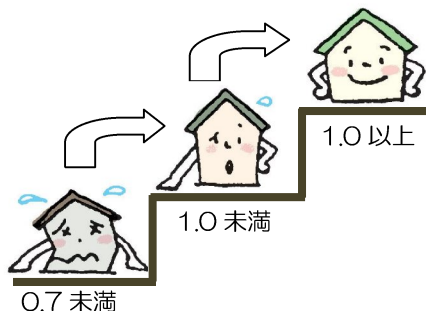
今のすまいの状況を踏まえて、どの程度、耐震性を向上させるのか、工事の内容、費用、工事期間中の対応など専門家と一緒に検討します。

～支援制度～

耐震改修計画作成助成制度

助成額 設計費用の一部を補助します。

耐震改修の具体的な計画、設計及び工事見積り費用の90%
最大助成額 **15万円**



ステップ 3 そして行動する。 ◎耐震改修工事◎

耐震化の工事を実施し、我が家の安全性を高めましょう。

耐震改修設計に基づき、工事業者に依頼して耐震改修工事を実施します。

耐震改修に一步踏み出すときに・・・**診断不要**

～支援制度～

木造住宅・京町家等耐震改修助成事業

耐震改修工事費用の一部を補助します。

助成額 工事費×1/2
木造住宅 **60万円**

最大助成額
京町家等 **90万円**

～支援制度～

まちの匠の知恵を活かした京都型耐震リフォーム支援事業

耐震性が確実に向上する工事をあらかじめメニュー化し、比較的少ない費用負担で耐震性を向上させる助成事業です。

助成額 対象となるメニュー工事費の90%
最大助成額 **60万円**

密集市街地や細街路の住宅で一定の要件を満たす場合、最大30万円上乘せ

支援制度に関する問合せ・申込先は裏面に記載しています！



耐震化支援事業のほかにも併せて御利用いただける補助制度があります。



○窓の断熱改修等の省エネリフォームに対する補助制度 補助金最大50万円

○太陽光発電：2万円/kW(上限4kW) 蓄電：5万円/kWh(上限6kWh) 燃料電池(エコフォーム)：10万円

太陽熱利用：10万円(分離型)5万円(一体型) HEMS(エコリフォーム)：2万円

※いずれも戸建住宅の場合。また、省エネリフォームや耐震改修を同時実施されれば、増額される場合があります。

※平成26年度から、上記の助成制度と耐震化支援についての総合相談・受付窓口を京安心すまいセンターに統合し、環境に優しく安全で快適な住まいづくりを総合的に支援する体制を整備しております。

(問合せ・申込先)

京安心すまいセンター

耐震・エコ助成ホットライン

075-744-1631

○場所

京都市中京区烏丸御池南東角
アーバネックス御池ビル西館4階

○FAX

075-744-1637

○開館時間

午前10時～午後5時

(休館日：水曜・祝日・年末年始)

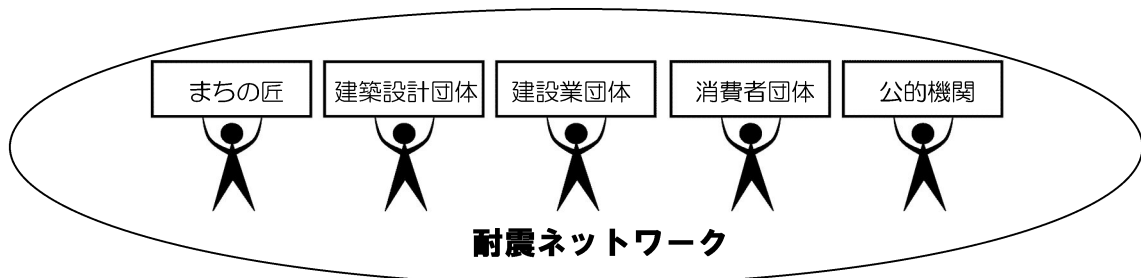


すまいの耐震化を応援します！！

京都市耐震改修促進ネットワーク会議

京都市では、“まちの匠”と呼ばれる大工さんや左官屋さん、建築士さんなど建築の実務者団体と連携して、「京都市耐震改修促進ネットワーク会議」を組織しています。

このネットワーク組織では、市民の皆さん自らが耐震化への一歩を踏み出せるよう、すまいの耐震化の重要性をより分かりやすくお伝えするために、地域に出向いての各戸訪問や相談会の開催、耐震改修の実績・ノウハウ・意欲がある事業者の情報発信、すまいの耐震に関する専門家の派遣など、耐震化支援の様々な取組を展開しています。



京都市